

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表：令和4年3月1日

事業所名 つみき第6

保護者等数 (児童数) 8

回収数 6

割合 75

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5	1			
	②	職員の配置数や専門性は適切である	5	1			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	5				
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	6				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	6			「いつも多彩な活動を準備して楽しく過ごせるようにしていただいています」	今後も子ども達が楽しめるように様々な活動を設定していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	2		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	6				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3	2			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援される	1	3	2	「特に保護者同士のつながりの必要性を感じていません」	現在コロナ禍で中止していた活動報告会を今後開催する時には、希望者のみの参加とする。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	6				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	4	2		「すみません、未確認です」	ホームページに第6に関する情報が掲載された際には保護者にその旨を伝える。
	⑭	個人情報に十分注意している	5	1			
非常 時等 の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	5	1			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5	1			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	4				
	⑱	事業所の支援に満足している	4				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等  
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表: 令和4年3月1日

事業所名 つみき第6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	1	1	1		
	②	職員の配置数は適切である			3		職員の退職や休職で職員が足りない状況 だったが、新規の職員が入職したことで改善 がみられた。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2		1		災害時に使用する階段にけるスロープがあ るが、保管場所が離れているため階段の近 くに移動する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している		2	1	日々の会話の中で情報共有 や業務改善についての内容を 話している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	2	1		職員間でアンケート結果を共 有している。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	2	1			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			3		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	3			研修がある際には職員間で 共有し、参加できる職員は参 加し、参加できなかった職員に は参加職員から情報を共有 する。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	3				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している		1	1	つみき全体で使用しているア セスメントツールは重心向け ではないので、独自のツールを 作成しアセスメントを行って いる。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			その月ごとに一週間単位で活 動の枠組みを決め計画を立て ている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	3				利用日数の多い利用児は活動が重複しや すいため、違う役割を担ってもらうなどで飽 きないように工夫する。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	1	1	1	長期休暇時には、平日滞在 時間の短い高学年の利用児 もゆとりと過ごせるため普段 よりも集団での活動や時間を 要する活動を行っている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせる放課後等デイサービス 計画を作成している	3			来所する利用児の組み合わせ や人数によって活動内容を 変えている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	3			利用児の来所前に1日の流 れを打合せし、お互いの動き を確認する。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	1		2		終業時間がバラバラなので支援終了後に必 ず振り返りを行うことは出来ないが、支援の記 録に特記事項を記入したり普段から情報交 換することで共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	3				日々支援の記録を取っているが、施設の電 波状況が不安定なため、記入したデータが消 えてしまうことが度々ある。こまめにバックア ップをとり、データが消えていることに気づいたらそ の都度記入している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	2	1			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	3			同じような内容に偏らないよう に一週間ごとに活動内容の特 組みを変えている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	2	1			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	2	1			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る		2			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている		2	1		つき第2から引き続きつきみきを利用している 利用児に関しては、事前に支援の様子を見 学に行き職員から情報を提供してもらって いるが、そうではない利用児に関しては現在 はまだ連絡は取りあっていない。必要な状況 になった際には情報を共有していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	1	1	1		現在はまだ卒業後の事業所とのやり取りはな いが、今後情報提供を求められた際には積 極的に応じていきたいと考えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		2	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある			3		障害のない子どもと一緒に活動を行うことは 難しい面もあるが、地域に重心の子どもが いることを知ってもらうためにも近隣の児童館に 顔を出したり公園に遊びに行ったりしてい きたい。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に 参加している		1	2		
関係機関や保護者との連携	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	3			主に帰りの送迎時に利用時の 様子を伝えたり家庭での様子 を聞いたりしている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている			3		
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3				
関係機関や保護者との連携	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	1		2		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	⑳	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	1			
	㉑	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3				
	㉒	個人情報に十分注意している	3			個人情報は鍵のかかる戸棚に収納し、閲覧後は必ずその戸棚にしまうようしている。	
	㉓	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			重心児のため発声や表情での返答は困難であることが多いが、職員表情や声は伝わっているものとして沢山コミュニケーションをとっている。	
	㉔	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	2		
非常時等の対応	㉕	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2			存在はしているが、あえて保護者に紹介することもなく、保護者の認知度が不明。避難訓練の際には緊急時対応マニュアルの紹介、というように普段の活動と結び付けてマニュアルの存在も周知していきたい。
	㉖	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		3			利用曜日により、避難訓練に参加することができなかった利用児もいるため、どの曜日の利用児も参加できるように避難訓練の機会を増やす。
	㉗	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				
	㉘	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2		昨年度までは車椅子のベルトも身体拘束にあたるようになっていたので保護者にその旨の同意書ももらっていたが、今年度はもらわなくてよくなったため身体拘束の同意書はもらっていない。また、普段身体拘束に当たるようなことは行っていない。	
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3				
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		3		多事業部のヒヤリハット報告書も含め共有し、普段から気を付けようという意識を持つようになっている。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。